

災害に強い
奈良県へ

ナラ・シェイクアウト

NARA

Shake

Out!



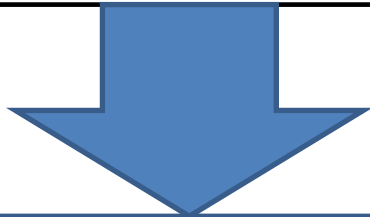
奈良県地震防災の日 7月9日(木) 10:30AM.

©NARA pref.

ナラ・シェイクアウト(奈良県一斉地震行動訓練)実施の背景

H23. 3. 11 東日本大震災

H23. 9. 3~4 紀伊半島大水害



被害を減らす取組の必要性

奈良県地域防災活動推進条例の制定

■ 条例の基本理念 ■

自助・共助・公助の相互連携
災害による被害を最小限にとどめるため、自分の命は自分で守る「**自助**」をした上で、自分たちの町は自分たちで守る「**共助**」に努め、県や市町村などが県民を守る「**公助**」を行う。

富雄中学校

2015年度生徒会活動方針③

みんなを守る、みんなの命

一人一人が自分の命は自分で守るという「自守の心」を持ち、普段からみんなが協力し合い、みんなでも、みんなの命を守れるようにするために頑張っていきましょう。

シェイクアウト(訓練)とは？

シェイクアウトは、自助の意識を高める絶好の機会



訓練の内容

① DROP！ **まず低く！**

② COVER！ **頭を守り！**

③ HOLD ON！ **動かない！**

①～③の安全確保行動を一斉に実施する。

昨年度の訓練の様子



どうして7月9日なの？

記録に残る幕末の奈良の大地震

慶長元年(1596)7月 伏見桃山地震(M7.3)

宝永4年(1707)10月 東海・南海地震(M8.4)

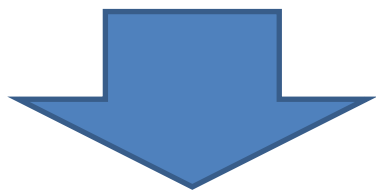
嘉永7年(1854)6月 伊賀上野地震(M7.6)

嘉永7年(1854)11月 南海地震(M8.4)

伊賀上野地震(M7.6)

1800人の死者、けが人数知れず
(井上町中年代記)

発生 6月15日(旧暦)



発生 7月 9日(新暦)

【土砂災害】

紀伊半島大水害

2011(平成23)年8月30日~9月4日



十津川村栗平の河道閉塞(崩壊土砂が河川をせき止めている)

【水害】

大和川大水害

1982(昭和57)年7月31日~8月3日



浸水した王寺町役場前を走るトラック
([歴史から学ぶ 奈良の災害史]より抜粋 写真提供:奈良新聞社)

【地震】

伊賀上野地震

1854(嘉永7)年7月9日



嘉永七年六月大地震瓦版(個人蔵 写真提供:奈良市教育委員会)

奈良県を襲った過去の災害

木津川断層帯の活動によると考えられる大地震。

二次災害としてため池の堤防の決壊により土石流が発生し、古市町(現奈良市)で約150人が死亡したとされています。

- 県内の死者 280人(諸説あり)
- 県内の全壊家屋約700~800戸

台風第10号とそれに続く活性化した低気圧の影響で、数十年に一度の豪雨が3日間で2回も降りました。

相次ぐ豪雨での土砂崩れや吉野川の濁流にのみ込まれるなどして犠牲者がでました。また、王寺町や田原本町などでは広範囲で浸水被害が発生しました。

- 県内の死者・行方不明者 16人
- 県内の建物被害 1万3,530棟

大型で動きの遅い台風第12号の影響で、県南部を中心に記録的な大雨が降り、大規模な土砂崩壊や河道閉塞が多数発生しました。これにより、多くの犠牲者がでるとともに、家屋が流されたり、浸水したりする被害も発生しました。

- 県内の死者・行方不明者 24人
- 県内の建物被害 184棟
- 避難者数被災直後 938人

(今年7月22日現在 47人)

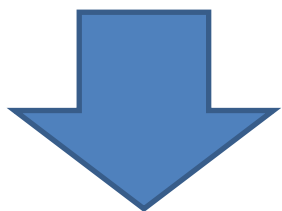
災害の種類ごとに、3つの「奈良県防災の日」等を制定しました。

9/3~4 奈良県土砂災害防災の日

8/1~3 奈良県水害防災の日

7/9 奈良県地震防災の日

奈良県にも
多くの断層
がある



地震



第2次奈良県地震被害想定調査報告書(平成16年10月公表)より。

地震の揺れは？

震度7

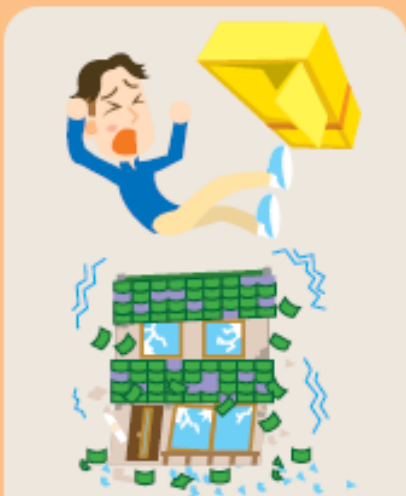
耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では倒れるものが多い。



耐震性が低い木造建物

震度6強

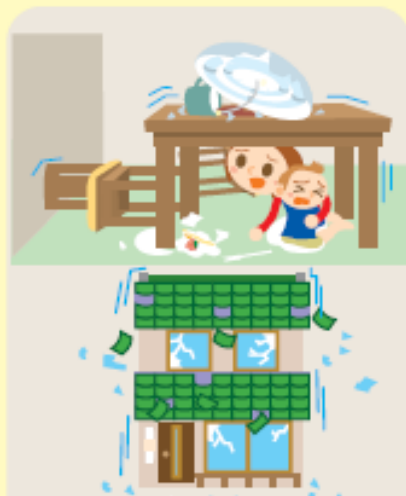
人が飛ばされることもある大きな揺れ。耐震性の低い木造建物は傾いたり、倒れるものが多い。



耐震性が低い木造建物

震度6弱

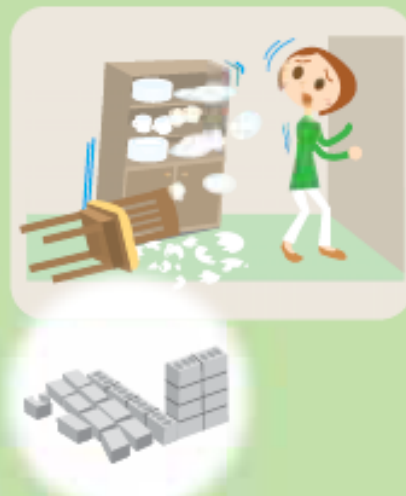
立っていることが困難。固定していない家具の大半が移動し、倒れたり、ドアが開かなくなることがある。



耐震性が低い木造建物

震度5強

食器類や本で落ちるものが多い。補強されていないブロック塀が崩れることがある。



内陸型地震

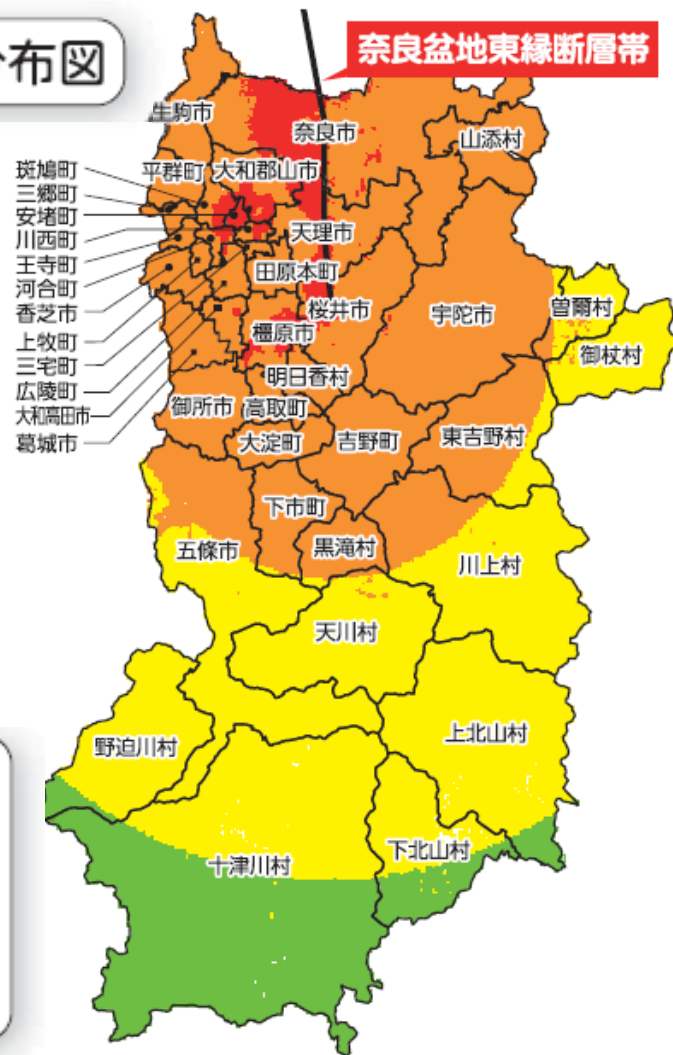
奈良盆地東縁断層帯地震の場合

想定震度分布図

奈良盆地東縁断層帯地震発生時の 主な被害想定

マグニチュード(地震の規模)	7.5
死者数	約5,153人
負傷者数	約19,045人
住宅全壊棟数	約119,535棟
避難者数(地震の1週間後)	約435,074人

地図、表ともに第2次奈良県地震被害想定調査報告書(平成16年10月公表)より。



海溝型地震 南海トラフ巨大地震の場合

南海トラフ巨大地震発生時の奈良県 での主な被害想定(最大値)

マグニチュード(地震の規模)	9.1
死者数	約1,700人
負傷者数	約18,000人
住宅全壊棟数	約47,000棟
避難者数(地震の1週間後)	約29万人

地図、表ともに内閣府発表「中央防災会議 南海トラフ巨大地震の被害想定について(第二次報告)」(平成25年3月18日)を基に奈良県が作成。

